

重点施策 1 1 活力あふれる公民館活動の推進

【施策方針】

生涯学習社会の期待に応えるため、時代や地域住民のニーズに応じた必要課題について学習機会を提供し、生涯学習に関する情報収集と発信に努める。

生涯学習に関する関係機関・団体と緊密に連携することにより、地域活動の核となり、コーディネーターの機能を発揮するとともに住民が気軽に立ち寄れる身近な交流の場、学習の場を提供し、地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 中央公民館と地区公民館の連携及び活動の充実
- ② 市民ニーズに対応した生涯学習教室の充実
- ③ 公民館施設の修繕・備品の充実
- ④ 公民館版SDGsの活用

(2) 施策・事業の実施状況

① 中央公民館と地区公民館の連携及び活動の充実

中央公民館も出席した地区公民館主事部会を毎月1回、館長主事合同会を年3回開催し、公民館活動の発展に寄与することを目的に公民館相互の連絡調整・情報交換を行った。

公民館職員としての資質の向上を図るため、各種大会や研修に参加したり、毎年1月には公民館研究大会を開催したりと日々研鑽を積み、地元地区の活動に生かしている。

② 市民ニーズに対応した生涯学習教室の充実

中央公民館において、生涯学習教室（陶芸、健康体操、習字、ヘルシークッキング、ヨガ、バレトン、季節の花を楽しむ、俳句、デジカメ、茶道、ふれあいスポーツ、硬式テニス、再発見！愛媛学、さんきら自然講座、八幡浜タウンツーリズムパートⅡ）16事業を開催したところ260名の受講者があり、保内別館で開催した子供を中心とした事業（子ども陶芸、新春書初め大会、囲碁・将棋大会）としては3事業117名の参加者があった。

また、各種団体・サークル活動による中央公民館保内別館の利用者は年間4,319人あり、地域住民の身近な交流の場、生涯学習活動の場として有効利用が図られた。

③ 公民館施設の修繕・備品の充実

各地区公民館・自治公民館の現状、緊急性、必要性等を考慮し、限られた予算の中で施設の整備充実を図っている。

④ 公民館版SDGsの活用

公民館を発展させるための16の目標の推進に努めている。令和6年度は、第28回八幡

浜市公民館研究大会において「子どもたちがつなぐ地域の輪」を大会主題とし、白浜地区公民館並びに喜須来地区公民館より活動事例の発表があった。また、同大会において、えひめ子どもチャレンジ支援機構の本田精志氏、國分美由紀氏を講師として迎え、「子どもたちの居場所づくり」と題してディスカッション方式で講演をいただいた。

【事務事業点検評価委員意見】

- 地域に根ざした公民館活動を進めるためには、人材の育成と魅力ある行事の実施と精選が挙げられる、地区館長・主事ともに地域住民の中から選出されるという本市のシステムは、近隣の市町の中では特異であろう。それだけに行政と各地区館との連絡調整や情報交換は重要である。そういった点でも、中央公民館と地区公民館・保内別館の館長・主事合同会の定期的な会議など、本市はよく連携がとれている。各地区ごとの個性あふれる行事の実施を見聞きし、情報交換を重ねることで、活力ある地域作りにつながることを期待したい。
- 中央公民館における生涯学習教室は16事業と、昨年度より4事業増え、受講者も260名と増加した。また保内別館での子供を中心とした事業も3事業あり、117名の参加者があったという。今年度も市民のニーズに対応した多彩な内容の生涯学習教室が開催されたことは喜ばしい。また、子供を対象とした講座が設けられていることもありがたい。生涯学習の基盤となり得るこのような取組は、少子高齢社会の現状のなかで、将来を見据えた明るい一歩となるように思われる。
- 公民館施設の修繕・備品の充実については、限られた予算の中で、緊急性や必要性を考慮しながら配分されている。地域住民のすべての要望に即応することはなかなか難しい。長期的展望に立ちながら計画的に進めていただきたい。
- 公民館版SDGsの活用については、継続的に16の目標の推進に取り組んでいただいている。令和6年度は市公民館研究大会等において、具体的な活動事例の発表とともにディスカッション方式での講演があった。具体事例を提示しながらの講演は、参加者が自分のこととして考える良い機会となったと思われる。今後とも職員研修の充実とともに、地域住民への啓発を引き続きお願いしたい。

【自己評価】

- 本市における各地区館の公民館職員の在り方については、地域に根付いた活動を行う上でも重要となるものであると認識している。今後も中央公民館が核となり、地区公民館の活動との連絡・調整を図り連携を密に取りながら、公民館活動の充実及び事業の展開ができるよう努めていきたい。
- 生涯学習教室については、利用者の声を取り入れながら、また事業の見直しなども併せてより豊かで実りあるものに繋がるよう取り組んでいきたい。特に将来に向けた活動を維持していく上でも子供たちに対する取り組みにも力を入れながら、その一方で高齢者が生

きがいを感じられるような事業を行うことで生涯学習が推進できるよう努めていきたい。

- 公民館施設の老朽化が顕著になっており、修繕はもとより、耐震基準を満たしていない施設については建替えや耐震化も進めていく必要がある。

公民館は、地域の活動拠点であるとともに、防災の観点からも地域の中心的な役割を担う重要な施設である。限られた予算ではあるが、緊急性や必要性を見極めながら計画的に改修等を進め、安全・安心に利用できるよう努めていきたい。

- 公民館活動を充実させるため、職員だけではなく、活動に協力していただく人材の存在が不可欠である。具体的な活動内容を示すことで、参加しやすい環境を整え、多くの人々が集えるような内容にしていく必要がある。

また、研究大会等は、公民館版SDGsの推進に向けた情報共有の場であり、知識の習得や意識向上を図るうえでも重要であることから、今後も継続して実施していきたい。